

皆様の要望にお応えしました!

公明党議員団実績

枚方市医師会館が建設されました

市内にある枚方休日急病診療所、北河内子ども夜間救急センター(旧:北河内夜間救急センター)、枚方休日歯科急病診療所が、市立ひらかた病院西側に新たに建設された「枚方市医師会館」へ移転・集約されました。

休日・夜間の急病時に市民の健康を守る医療機関が1カ所に集まった事で、いざという時スムーズな受診につながります。これまで、幾度も議会等で取りあげ実現致しました。



広域ハザードマップ発行

令和2年6月定例会月議会で、広域のハザードマップが必要と要望し、実現しました。



須山中央公園出入口付近道路補修



かまぼこ状の道路をつまづきにぐぐする為、平面に補修しました。

殿山百済寺道道路補修(中宮UR団地内11カ所)



令和2年9月定例会月議会で要望し、早期の補修を訴え実現しました。

渚西1丁目用水路の掃除(200m)



キッズゾーン設定



宇山光の子保育園、市立阪保育所付近に初めて「キッズゾーン」設定。保育所の散歩ルートの安全対策が施されました。

禁野本町1丁目付近



車線を明確にする看板設置。枚方市駅方面の路面表示がされました。

いちはら実績

いちはら通信

HIRAKATA
2021-12月発行
No.5



ごあいさつ

日頃より温かいご支援、又ご縁を頂き心から感謝申し上げます。

2年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言が繰り返し発出され、市民生活に大変な影響を及ぼしてまいりました。現在は、新規感染者数も減少しているとはいえ、第6波が懸念される中、対応も講じなければなりません。これまで公明党議員団として、コロナ感染症対策について市当局へ12回に及ぶ緊急要望書並びに申し入れを行い、ワクチン接種の体制強化、コロナ後遺症相談窓口設置等、又プレミアム付商品券初め市内事業者支援にも力を入れてまいりました。これからも、皆様の生活を守る為、全力で努めてまいります。引き続き、温かいご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



枚方市議会議員 一原明美

「令和4年度予算編成に関する要望書」及び「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望(第12弾)」を市長に提出

「令和4年度予算編成に関する要望書」を提出。

- ① 行財政改革の積極的推進
- ② 子育て支援の充実
- ③ 健康・福祉施策の充実
- ④ 安全・安心のまちづくり
- ⑤ 活力のあるまちづくり
- ⑥ 環境にやさしいまちづくり
- ⑦ 教育施策の充実



⑧ 人権を守るまちづくり の8分野105項目について要望致しました。又、コロナワクチン3回目接種を円滑に実施するための体制確保など4項目について、併せて12回目となる「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望」を提出致しました。

発行: 枚方市議会議員 一原明美 上野1丁目在住

議会控室 〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 TEL: 072-841-1221 / FAX: 072-813-9061

ホームページ <https://ichihara.hirakata-komei.jp/>

★ 令和3年度予算特別委員会(3月)

ひとり親家庭養育費相談・支援事業費について等、14項目について質疑致しました。

★ 令和2年度決算特別委員会(10月)

骨髄バンクドナー支援事業経費について等、12項目について質疑致しました。



★ 令和3年6月定例月議会一般質問より

令和4年4月統合(高陵小学校・中宮北小学校)の新しい学校作りについて

質問 海外のネイティブ講師によるオンライン事業の導入又、関西外国語大学留学生との交流会を積極的に取り入れた英語学習への取り組みを要望する。

答弁 関西外国語大学との連携した取り組みや海外の小学校との交流など特色ある英語教育の取り組みを行いたいと考えている。



★ 令和3年9月定例月議会一般質問より

新しい学校作りについて

質問 統合校の新しい名前が禁野小学校と決まった。両校の児童の投票により選定した上で決定されたが、多くの児童が投票していた「天の川」、「あおぞら」についても学校施設の名称名など、思いを形にしてはどうかと考えるが見解を聞く。新しい学校施設においては、一人一台端末に対応した教室拡大、ICTに対応した新たな図書館等、どのような整備を行うのか、又これまで幾度と要望してきた木材を利用した学校施設への見解を聞く。

答弁 「天の川」、「あおぞら」については、子どもたちの思いを形にのこしていきたいと考え、今後具体化していく。オンライン授業や日常的なICT機器の活用を前提とした学習機能を可能とする為の設備整備は必要と考える。又、木材利用について学習環境の向上を図る上で効果が高いと考え、具体化を検討する。



男性の育児休業取得の促進について

質問 男性の育児休業取得の更なる取得率の向上にむけ、具体的に取得促進の意識を高める為の取り組みが必要と考える。又、市内事業者においても取り組みを進めていくべきと考えるが見解を聞く。

答弁 職員の意識の醸成を高める為、配偶者が出産予定の職員に対し、育児に関する計画プランの作成を促し、子どもの出生前から考える機会となるようにし、取得促進につなげていく。より多くの事業者への啓発、促進につながるよう商工団体や大阪府と連携し調整を行い、取り組みを進めていく。

プッシュ型行政サービスについて

質問 行政手続き上、制度の対象であっても情報を知らなかった事で申請に至らないケースがあるが、申請主義弊害解消を目指し、必要な行政サービスにつなげていくプッシュ型の通知の取り組みが必要と考えるが、市の見解を聞く。

答弁 国においても検討が進められており、本市においてもライフステージに合わせた適切な時期に必要な行政手続きにつなぐことができるプッシュ型通知について検討を進めていく



虐待予防の啓発について

質問 本市の児童虐待の相談件数が、前年度から約1.5倍に増加する中、子ども自身が虐待を受けている状態を確認し、SOSを出せる環境づくりも大切と考える。児童虐待に関するアニメ動画等を活用し、子どもに配布しているタブレット端末により周知してはどうか。

答弁 教育委員会と連携し、タブレット活用を検討する。また、市ホームページへの同動画の掲載等、様々な手法で周知、啓発する。

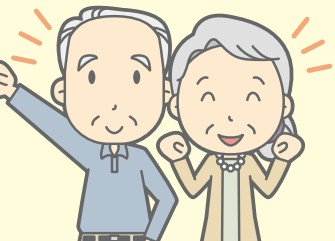


認知症の予防と啓発に対する取り組みについて

質問 認知症の前段階であるとされる軽度認知障害、いわゆるMCIの人に関しては、放置すると症状が進み、認知症へと移行してしまう可能性が高いといわれており、早期発見、早期対応が必要であり予防に対してどのような取り組みをされているか聞く。

答弁 大阪精神医療センターと連携し、医師を含めた医療専門職とともに、枚方版認知症プログラムところとからだ生き生き教室を実施している。軽度認知障害の疑いのある方を早期に把握し、医療機関等必要なサービスにつなげることを目的に、認知機能検査をメインとして講座をモデル的に実施した。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見合わせている。

要望 今後、「広報ひらかた」で認知症の特集を組んでいただく等、認知症の早期発見、早期対応、その予防に関して徹底した周知を行い、しっかり寄り添ったサービスを提供して頂くよう要望する。



府道杉田口禁野線の整備について

質問 府道杉田口禁野線の整備工事は府により進められているが、禁野本町2丁目に歩道の未整備区間がある。早期整備を望む声を受け、府議会議員と共に幾度も訴えてきたが、進捗状況を聞く。

答弁 府では、現在、沿道地権者と継続的に協議を行うとともに、設計委託契約を8月に締結し、具体的な検討を進めている。市としても、引き続き府と連携し、整備工事の実現に向け取り組む。

